

眼科手術における予後に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年8月6日～2027年3月31日

〔研究課題〕 帝京大学医学部附属病院眼科で手術を行った症例に関する検討

〔研究目的〕 眼科領域で、どのような症例に対しどのような手術を行うことが最も適切なのかを検討することにより、より適切な、負担の少ない治療法の確立や選択ができるようにするための研究です。

〔研究意義〕 眼科領域では近年検査機械の進歩や手術器具の進歩で、手術の適応や手術術式、予後などが変化してきています。そのため手術手技も様々で、すでに手術を受けた症例の術式や予後を検討することにより、より適した治療法の選択が可能になると思います。

〔対象・研究方法〕 帝京大学医学部附属病院眼科で2009年5月から2021年7月の間に手術を受けた患者さんを対象に、年齢、性別、疾患名、手術前所見、手術術式、基礎疾患、手術予後などの視力、視野、などの眼科的所見や全身所見、治療法などを解析いたします。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部眼科学講座

〔個人情報の取り扱い〕 患者さんのデータは帝京大学医学部眼科学講座で匿名化し厳重に保管・管理し、個人が特定できないように配慮いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：井上 裕治（帝京大学医学部眼科学講座 准教授）

住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211(代表)〔内線 32626〕